

【松前町まちづくり女性会議】

	意見	現状と対応	担当課
子育て環境等に関すること	赤ちゃんを連れてママ友と食事などに集まれる場所がほとんどないので、児童館が出来れば松前に引っ越してきて、ママ友を作ろうという人も出てくると思う。	北公民館の中に松前町児童館があり、北公民館の耐震工事に併せて施設を改修する予定。 現在は、放課後児童クラブの整備を優先して進めることとしており、今年度の北伊予小学校の放課後児童クラブの後、引き続き松前と岡田の整備を行うため、児童館の整備については、その後検討を行う。	福祉課
	子どもを連れて行く大きなおしゃれな施設がないので、おしゃれな児童館が出来ればお母さん世代にアピールできると思う。		
	孫は、松前町の児童館は利用しておらず、設備の良い近隣市町の児童館を利用している。松前町は子どもが増えてきて土日に遊びに行くところがない。		
	保育所、幼稚園、小・中学校の外見をおしゃれにしたり、トイレを洋式に換えたりなど設備の整備をすれば、お母さんたちが松前の学校に子どもを通わせたいと思うのではないかな。	新設の保育所については御意見を考慮して整備を進め、その他の保育所等については、施設の改修時に検討していく。	福祉課 学校教育課
	マタニティヨガやベビーピクスなどのイベントは、募集があるとチケットが完売するほど人気があるので、お母さんを対象にしたこのようなイベントがあるといいのではないかな。	町内在住の妊婦や子育て中のお母さんを対象として、マタニティヨガやベビーピクス、ピラティスなど、各種の無料イベントを実施している。 今後も、より多くの方が気兼ねなく参加できるように、更に周知方法や実施内容を検討したい。	健康課
	松前町の学童施設は、学校の教室の間借りをしている。学校という環境の中で子どもたちが本当にリラックスできているのか疑問である。特に松前校区は、早急に学童環境の見直しをしてほしい。	放課後児童クラブは、松前町子ども子育て支援事業計画で31年度までに順次整備を行っていくこととしており、今年度は北伊予小学校の放課後児童クラブの整備を行い、松前、岡田についても整備を進めていく。	福祉課
	以前は希望する保育所に入れていたが、今は希望する保育所には問題なく入所できているのか。	時期によっては待機児童が発生することがある。 今年度は4月1日時点では待機児童はいなかったが、9月1日時点では15人(うち0歳児12人)となっている。その大きな要因は保育士不足であるため、安定した質の高い保育サービスを提供できるよう保育士確保に努めていく。 また、来年10月開園予定の松前・宗意原統合保育所は定員を町内最大に設定しており、待機児童ゼロを目指していく。	福祉課
	産休・育休を経て仕事復帰する人が増えているが、保育所入所待ちのために職場復帰が数ヶ月遅れたという人もおり、保育所の充実が必要だと思った。新しい保育所が出来るということなので、今後更に充実していってほしい。		
	新しく出来る保育所には、建物・遊具・質など全てにおいて魅力的な保育所になってほしい。	子どもたちが安心して1日を過ごし、保護者が通わせたい、子どもたちが通いたいと思う、木のぬくもりを感じる園舎を目指しており、建物だけでなく保育の質の向上についても取り組んでいく。	福祉課
	倉敷市では“赤ちゃんの駅”という授乳場所の提供をしているとのこと。松前町でも整備すれば子育てしやすい町だというアピールになり、住みたい町だと思ってもらえるのではないかな。	乳幼児健康診査等の機会を通じて、どの場所にどの程度の需要があるのか調査していく。	福祉課 健康課
	子どもが夏休みの間も母親が安心して働けるように、子どもの夏休み中の環境整備を考えてみてはどうか。	放課後児童クラブは、長期休暇中も利用できる。長期休暇中のみの利用については、空きがあれば対応可能である。	福祉課
	低所得家庭の中・高校生に無償で学習指導し、運営と奨学金を寄附金で賄っているというボランティアグループの紹介番組を見た。このようなシステムがあると子育てしやすいと思う。	中学校では、学習の後のある生徒に対し、学習相談や個別指導を行っている。 低所得家庭に対しては、幼稚園・保育所の利用に係る経済的な負担を軽減するさまざまな制度や、小・中学生を対象とした学用品などの一部負担もっており、これからも先進地の事例などの情報収集に努めていく。	学校教育課
	図書館は子どもが騒がないように気を使わなければならないため、親子で本に親しむことができるスペースが図書館や公民館にあればよいと思う。	地区公民館にある図書スペースは比較的周りに気を遣わないで本を楽しむことができるので、利用いただきたい。 図書館でのスペース作りについては今後検討していく。	社会教育課

【松前町まちづくり女性会議】

	意見	現状と対応	担当課
子育て環境等に関する事	事業所内保育所を作っている県内企業の新聞記事を見たが、松前町も事業所内保育所への支援をしていく必要があるのではないか。	整備や運営に係る国からの補助制度はあるが、今まで事業所からの問合せはない状況。町内事業所の動向などを見ていく。	福祉課
	子育てと介護は離れているようでつながっており、住民全員で参加していくべき。 子育てだけでなく、自分たちの一生や家族全員にとって松前町で暮らして幸せだと実感できるようなまちづくりをしたい。	誰もが松前町に住んでいることを誇りに思えるような、成熟した「誇れるライフタウン」になるよう全力で取り組む。	全
	東京都杉並区や千葉県流山市など、全国には子育て支援に関して成功している事例が多くあるので、同じような取組を行ってはどうか。	全国の優良事例の情報収集に努め、参考にしていく。	福祉課
	以前、共働きのため子どもを未満児保育に預けることになったが保育料が高かった。保育料の見直しを検討してほしい。	現在は、国の定める保育料より低い基準を設定している。近隣市町とも比較しながら、状況に応じて見直しも検討する。	福祉課
	松前町の豊富な食材を使い、献立作成ができる高齢者がボランティアで参加するなどして、給食費を無料にすることはできないだろうか。	学校給食の献立については、栄養教諭以外の者は作成できないと定められている。 また、学校給食法において食材料費は保護者負担であり、現段階では無料化は考えていない。	学校教育課
	今のお母さん世代とおばあちゃん世代では子育ての方法が違い、お手伝いをしてくれるおばあちゃん世代は最近の子育ての方法が分からないという問題があると聞いた。おばあちゃん世代向けの講習会があれば、松前町のアピールにもなるのではないか。	現在実施している講座への祖父母の参加は可能である。 また、平成29年度からは、祖父母を対象とした座談会や子育て実践などの子育てサークルを実施する予定。 広く情報発信を行い、周知に努めたい。	福祉課 健康課
	これから結婚・出産する立場で考えると、町内に産婦人科が欲しい。	町としても町内に産婦人科が出来ることを望んでおり、様々な機会を通じて働き掛けていく。	健康課
子育て支援の情報発信に関する事	北公民館の中にある児童館は、児童館としてのPRができていない。児童館らしい何か分かるものを設置すれば、子どもが入ってきてくれるのではないかと。	北公民館の1階にある松前町児童館は平日・土日も8:30～17:00の間開館しており、各種行事を行っているが、児童館の存在自体あまり知られていない。 今後は、指定管理者とも相談しながら効果的な児童館のPRと情報発信を行っていく。 また、子育てに関する情報発信については、松前町ホームページ上に「マッキー子育て応援隊」というサイトを開設しているが、年齢別に分かれていない。 御意見を参考にしながら、情報提供や検索方法について検討を行う。 さらに、準備が進められている町の公式フェイスブックなどを活用し、PR力の強化を図っていく。	福祉課
	都会に比べると自然が豊かで子育てしやすいが、昔とハード面はほとんど変わっていない。変わっていないにしても、そのハード面をPRする努力が足りないのではないかと。		
	ファミリーサポートセンターを早くに立ち上げ、子育て支援センターも充実しており、子育てに関しては力を入れていると思うが、PR不足については考えるべきではないかと。		
	中学校まで医療費を無償にしてもらえるというのは、全国にも自慢できる制度だと思う。松前町は子育てしやすい環境であるということを、もっとアピールするべきだと思う。		
	子どもの年齢別にターゲットを分け、遊びや飲食店・イベントなどが分かりやすく検索できるようなインターネットの情報サイトがあったら便利だと思う。		
	情報発信と併せて、施設やセミナー・サークル等の利用者のクチコミを投稿できるようにすれば効果が増すと思う。		
	松前町は子育てが充実しているという意見が多かったのもので、それをこれから子育てする世代にうまくPRできればよいと思う。		

【松前町まちづくり女性会議】

	意見	現状と対応	担当課
子育て支援の情報発信に関する事 こと	各校区に子どもたちの登下校を見守ってくれる“見守り隊”がある。そういった良いところをタブレット端末などの情報ツールなどを利用して、もっとPRしてほしい。	学校ごとに、各々のホームページを利用して情報発信したり、保護者向けの不審者情報や声掛け事案等の情報をメール配信している。今後も内容を一層充実させ、児童・生徒や保護者へのPRに努める。	学校教育課
	学校独特の取組などを、学校のサイトを作って発信してはどうか。		
	「子育てマップ」と「笑顔の種まきサポートブック」の編集年が2年ほど違うためか、子育て相談の部分だけでも若干情報が違っている。冊子の在庫の問題もあると思うが、統一してほしい。	作成時の最新情報を掲載しているため、内容が異なっている場合がある。今後は、最新の情報を提供できるような方法を検討する。	福祉課
	子育てに関するパンフレット類は、出産後に渡しているとのことだが、母子手帳の申請時に渡してはどうか。出産前の方が読む時間があると思うし、妊娠時の悩み相談などのサービスも知ることができ、先々の安心感も増すと思う。	現在は、おおむね生後4ヶ月までの赤ちゃんを対象とした「こんにちは赤ちゃん訪問」で配布している。今後は、御意見のとおり母子手帳の申請時に渡すこととする。	福祉課 健康課
	「子育てマップ」の地図は、児童館と北公民館が別の建物のように見えるなど施設の場所が分かりにくい。公園や保育所・病院など用途別に分けて、分かり易くしてはどうか。	パンフレット類については、今後は文字だけでなく、写真等の視覚的な情報も取り入れ、分かりやすく見やすいものとする。種類についても、子ども用、大人用、子どもと大人両用などの検討を行う。また、読みやすい内容構成にするなど利用者目線に合ったものを作成する。更に、種類によって大きさなども考慮しながら、利用する人が使いやすくなるよう工夫する。	福祉課
	子どもたちが見て行ってみたいと思えるような、子ども目線での「子育てマップ」を作ってはどうか。		
	パンフレット類は、ターゲットの目線で作らないと意味がないと思う。お母さんたちを巻き込んで、意見を取り入れたパンフレットを作ってみてはどうか。		
	現在のパンフレット類は、主にお母さん向けになっているようだが、お父さんやおじいちゃん・おばあちゃんも子育てに参加してもらえるような内容のものがあってもよいと思う。		
	母親のバックに入れて持ち歩けるような、小さいハンドブックを作ってはどうか。		
	松前町のパンフレットは、住所・電話番号が載っているだけなので、手に取って分かりやすいパンフレットにするために、施設の写真や、セミナー・サークルなどの内容が分かるような写真を掲載したり、図書館等の施設に親しみを持ってもらえるような名前を付けるなど、工夫してはどうか。		
	「笑顔の種まきサポートブック」は、前半と後半部分は違う内容になっているが、内容が多くて後半部分まで読み進みにくい。別の冊子に分けた方がよいのではないか。		
	子育てのパンフレット類を見て、電話の連絡先が非常に多いと感じた。音声ガイダンスなどで振り分けられるようにしてはどうか。	保育所や幼稚園、一時預かり等を円滑に利用できるようサポートする事業を平成31年度までに実施予定しており、この事業において子育てに関する相談窓口が一本化されることとなる。フリーダイヤルの開設については、事業開始時に検討する。	福祉課
	相談窓口の電話をフリーダイヤルにして、気兼ねなく電話できるようにしてはどうか。母親はストレスや将来の不安など心配事が多いため、ちょっと話を聞いてもらうだけでもよいというときに、フリーダイヤルだと掛けやすくてありがたいと思う。		
安全・安心なまちづく りに関すること	子どもが自転車で道路沿いの用水路に落ちたことがある。ふたをするのが難しいのは分かるが、外見だけでなく安全面からも、用水路を何とかしてほしい。	転落防止柵の設置については、要望箇所を現地調査して要否を確認し、必要と認められた場合は、設置を行う。	まちづくり課
	道路の白線や文字が薄いところがある。	3ヶ月で全路線を回るよう道路パトロールを実施しており、路面表示が不明瞭な箇所についてはパトロールでの確認や地域からの要望などより、予算の範囲内で補修を行う。	町民課 まちづくり課

【松前町まちづくり女性会議】

	意見	現状と対応	担当課
安全・安心なまちづくりに関する事	エミフルが出来てからは松前自体が明るくなったが、他の場所は暗いので、もっと街灯が欲しい。	街路灯は、現在は各地域からの要請に基づき町が設置している。 このほか、今後は町が危険箇所の調査を行い、必要と判断するところについては、町が独自に設置していきたい。	まちづくり課
	設置基準があるとのこと、なかなか街灯を設置してもらえない。基準の見直しをしてほしい。また、見栄えのよい街灯区域を作ってみてはどうか。		
	エミフル周辺でウォーキングする人が増えたが、古くて暗い街灯が多い。明るい街を印象付けることができればウォーキングも楽しくできるし、防犯対策にもなる。		
	駅から家までの夜道は暗いため、走って帰るようにしている。街灯を増やしてほしい。		
	信号のない横断歩道が多いように思う。子どもがよく通る横断歩道には、子どもに配慮してもらえるような標識等の整備を考えてはどうか。	通学路の安全調査を毎年行っているほか、地域からの要望を警察に伝えている。今後も随時要望していく。 また、路面表示など町として実施できるものについては、必要に応じて実施していく。	まちづくり課 学校教育課
	地震で電柱が倒れたら、親を背負っては歩けないだろうと思うくらい道路に電柱が多い。無電柱化や地中ライトの設置をしてはどうか。	新たに整備される道路について、無電柱化などの検討を行っている。	まちづくり課
公園の整備・管理等に関する事	松前町には、子供がサッカーや野球などができるような公園が少ない。福德泉公園には多目的なグラウンドのようなスペースがあり、いろんな用途で使えてよいと思うが、知らない人が多いのではないかな。	町が管理する公園は、幅広い年代の利用者の安全面を考慮し、野球・サッカー等は遠慮していただいている。 安全面や場所の確保などの問題はありますが、利用できるスペース作りについて検討していきたい。	まちづくり課
	ひょこたん池公園は、遊具が少なく子どもが安全に遊ぶ公園だが駐車場が少ない。駐車場が広げればもっと利用者が増えるのではないかな。	誘致距離500m程度までを想定した公園なので駐車場を設けていないが、今後の公園全体の整備の中で、駐車場の可否についても検討する。	まちづくり課
	公園の遊具などが老朽化しており、そのためか元気に遊ぶ子どもの姿が少ない。子どもが元気に外で遊ぶような公園などの環境作りが必要だと思う。	公園には、町が管理する公園と地域が管理する公園がある。 町が管理する公園の遊具については、定期的に点検を行っており、老朽化したものについては更新を行っている。 地域が管理している公園については、現在実施している遊具等の整備に対する補助金について、平成29年度からは遊具設置を助長するため全額を補助することとしている。 また、河川敷等を利用した憩いの場づくりなどについても検討していく。	町民課 まちづくり課
	筒井地区は、人が増えている割に公園が少ないと感じる。近場の公園はなくなり、公民館の遊具も撤去された。安全面の問題もあるかもしれないが、シンボルとなるようなものを一つ設置するだけでも、子どもたちがそれを目印に集まるのではないかな。		
	どうすれば公園がこれから増えるのかなど、若いお母さんたちの意見も聞いて考えていければよいと思う。		
	松前公園は設備が充実しているので、子どもが楽しめるイベントがたくさんあるとよいのではないかな。	指定管理者によるサッカー教室や野球教室を開催するなど、松前公園を利用した子供向けイベントを実施している。今後、指定管理者とも相談しながら、更なるイベントの充実に取り組む。	社会教育課
まちの情報発信に関する事	親水公園は近所の人が利用するだけで、外から人が来ない。せっかく良い公園があるのにPRが足りないのではないかな。これらの親水公園を使ったイベントなどを考えてみてはどうか。	ホームページやタウンガイドなどに掲載し、公園のPRのほか、地元行事などのPRも行っている。 現在、愛媛県が進めている「愛媛マルゴト自転車道」において、町内3箇所の親水公園や塩屋海岸、重信川など通るサイクリングコースを「まさき泉めぐりコース」として設定している。 今後は、コースの利便性の向上を図るためのブルーラインを整備することとしており、親水公園の存在や良さを積極的にアピールするとともに、自転車関連イベントの検討も行っていきたい。	まちづくり課
	松前は渇水にも強く、親水公園もあるが、全く知られていない。昨年のサイクリングフェスタのようなイベントを通して、松前の水の良さをアピールしてはどうか。		

【松前町まちづくり女性会議】

	意見	現状と対応	担当課
まちの 情報発信に 関すること	松前のイベントは夏祭りの花火しか知らなかったが、“はんぎり”を初めて知り、行ってみたいと思った。 若者が関心を寄せるようなイベントを企画して、SNSを使って情報発信すればいろんな人が松前にやってくると思う。	現在、まちの情報発信については、ホームページのほかには、広報紙や観光パンフレット等の紙媒体で主に行っている。 フェイスブックでの情報発信は、防災関係と国体関係だけで、その他については、SNSを活用した情報発信は行っていない。 現在、様々な種類のSNSが多くの人たちに利用されているが、文字制限のあるTwitterや動画のみのYouTubeに比べ、フェイスブックの方がより効果的なまちの情報発信ができると考え、まずはフェイスブックによる情報発信を開始する。 平成29年1月から町公式フェイスブックを開設するための準備を進めており、子育て支援情報をはじめ、まちの魅力や観光情報などを、写真や動画を用いながら、広く多くの人たちに伝えていきたい。 また、カバー写真を町民から募集するなど、行政の視点だけではなく、町民ならではの身近な風景や、地域ならではの行事・活動なども発信していけるような方法についても検討する。	総務課 産業課 まちづくり課
	有明公園など素敵な場所をうまく情報発信していけば、もっと多くの人に松前を知ってもらえると思う。		
	タウンガイドに掲載されている塩屋海岸の夕日がきれいなので、双海のように塩屋海岸を整備するなど、PRすればいいのではないかな。		
	きれいな景色や祭りなど、アピールする情報をたくさん知っているはずの住民から、意見箱の設置などによってアイデアを募ってはどうか。		
	インターネットでリアルタイム検索すると松前町のツイートが出てくるように、毎日Twitterで情報発信を行ってはどうか。		
	YouTubeなどを使って、動画を利用した情報発信をしてはどうか。		
	町のホームページ以外にもフェイスブックやブログなどSNSを利用して情報をUPすれば、若い人が松前町に興味を持つのではないかな。		
	町のホームページは興味がないと自分からは調べないが、SNSは誰かがシェアした情報が勝手に入ってくるので、興味がない人にも見てもらえる。CMも自然と目に入ってくるので、これらを利用すればよいのではないかな。		
	自分が行きたいところを探すときは、インターネットで画像検索し、景色の写真を見ることが多い。松前町をインターネット検索すると、ポスターになるようなきれいな景色や場所、おいしい食べ物などの画像が見られるように、日頃から情報発信できれば松前町のPRにつながると思う。		
地域資源の 活用等に関すること	行ってみたい住んでみたいと思ってもらうには、やはり情報発信が大切だと思う。町の魅力を紹介するようなCMを作って、テレビやネット配信してはどうか。		
	偶然テレビの特番を見るまで“はんぎり”の意味が分からなかった。テレビ放送があることをもっと宣伝していれば、多くの人に関心を持ってもらえたのではないかな。	はんぎりは、松前町オンリーワンの地域資源であり、はんぎりを活用することにより賑わいと活力のあるまちづくりにつなげたいと考えている。 平成27年度から、はんぎり競漕を「H-1グランプリ」としてテレビで放送することにより広く周知を図っている。 また、平成28年度からは、新たに県内の高校生を対象にした「はんぎり甲子園」を開催し、普及を図っている。（参加者は中予の高校14校30チーム） 今後は、「はんぎり甲子園」の出場校を拡大するとともに、テレビ放送を継続して行うなど、町内外に広くアピールしていく。	産業課
	“はんぎり”は松前町民しか知らないのではないかな。歴史もあり、参加しても楽しいのにもったいない。		
	松前に転勤してきて“はんぎり”を見て、面白いと思った。今後広がって欲しいと思う。		
	昨年夏祭りに参加して、花火は良かったが、夕方以降は時間が長くダラダラ感があり、もう一つ何かが必要だと感じた。	現在整備を進めている町道西古泉筒井線を活用したまさき音頭の実施や、松前公園での露店のあり方等について検討を進める。	産業課

【松前町まちづくり女性会議】

	意見	現状と対応	担当課
地域資源の活用等に関する事	多くの人に珍味が特産だと知ってもらうため、エミフルとタイアップして、エミフルの駐車場で期間限定の食堂を開いてはどうか。	エミフルMASAKI敷地内に産直市「まさき村」があり、珍味や裸麦、地場産の新鮮な野菜や魚などを販売している。 11月にはまさき村前の駐車場を会場として「たわわ祭(松前町産業祭)」を開催し、町の産品を販売・PRしている。 また、11月23日の「珍味の日」には、四国珍味商工協同組合が毎年珍味の無料配布を行っている。 平成28年度は、裸麦を使った新商品や新しい料理を開発する『はだか麦プロジェクト』を実施しており、積極的な情報発信を行っている。	産業課
	珍味や裸麦をもっとアピールするため、エミフルへの来客を取り込める「道の駅」のような施設があればよいのではないかな。		
	エミフルで町内の名店を期間限定で出店して、松前町をPRしてはどうか。		
	“義農作兵衛”や“おたたさん”を、もっとクローズアップすればいいのでは？	毎年4月に義農祭を開催しているほか、町のホームページに作兵衛の事跡を紹介した動画を公開している。 平成28年度には、おたたさんをモデルにした商工会のキャラクター“おたたちん”を、ゆるキャラグランプリ2016にエントリーPRするなどの取組を行った。 今後も、町のホームページ等様々な機会を捉えて情報発信を行うほか、義農作兵衛・おたたさんなどを活用したイベント等の企画を行うなど、効果的にアピールしていきたい。	総務課 産業課 社会教育課
	青色の人口芝が印象的な最先端のホッケー場が出来た。国際大会を開くなど、国内だけでなく世界に発信していける一番の武器になると思う。 東京五輪の際にはナショナルチームを誘致してはどうか。 まずは来年の国体で、また松前に来たいと思ってもらえるような町のPRや手厚いおもてなしが重要だと思う。	ホッケー場を活用してホッケーの町づくりを進める。様々な大会の招致に努めるほか、町内の小中学生にホッケーに触れる機会を提供し、ホッケー人口の裾野を広げる。 国体リハーサル大会では、町内事業者等に御協力いただき、無料で松前らしい食べ物(裸麦や小魚を使った料理など)をふるまい、心のこもったおもてなしをするとともに特産品等のPRを行った。 リハーサル大会での課題の対策をしっかりと行い、来年の国体の成功につなげていく。	社会教育課 国体推進課
	国体を機会に、県外の方がまた松前町に来たいと思えるようなまちづくりに取り組んでほしい。	平成28年度の国体リハーサル大会において、地域の特産品をふるまうとともに、松前町のPRを積極的に行った。 本大会においても、更に充実したおもてなしと町のPRを行い、松前町に関心を持っていたけよう取り組む。	全
	町内にある古泉駅を、語呂合わせで“恋泉(こいずみ)”として、若い人に対して何かPRができないか。	古泉駅のほか、出合橋や夫婦橋、想い通り、新たに建設される町道西古泉筒井線などの地域資源について、ストーリー性を持たせながら魅力的な展開が図れるようなコンセプトを検討していく。	産業課
	松山市のスーパーで、他市の職員が裸麦のPRを行っていた。松前町職員も負けないようにPRしてほしい。	県内だけでなく東京・広島など県外でも物産展を行い、特産品のPRを行っている。現在進めている「はだか麦プロジェクト」において、松前町を代表する新しいスイーツを開発中で、試食イベントや、プロジェクトを紹介する番組のTV放映等も行っており、引き続きPRしていく。	産業課
	会議等でも、ペットボトルの飲み物ではなく、裸麦の麦茶を出すなどして特産品のPRをすれば、そこから口コミで評判が広がったりするのではないかな。	会議の主旨や状況により、来庁者に裸麦の麦茶等の提供を検討する。	全
	松前町でも国体に向けて、特産品のスイーツや、裸麦、ちりめん、珍味、味噌などのお土産を、商工会を中心に準備してはどうか。	現在進行中の「はだか麦プロジェクト」でスイーツを開発中であり、商品化を目指している。 国体への地場産品の出品については、募集時に積極的に地元事業者と呼び掛けたい。	産業課 国体推進課
	“おたたちん”と“みきちゃん”のコラボキャラや、その商品を作って松前町をPRしてはどうか。	県との連携により、みきちゃんのおたたちんバージョンのデザインは作成している。 今後、様々な機会を通じて積極的なPRに努めていく。	産業課

【松前町まちづくり女性会議】

	意見	現状と対応	担当課
地域資源の活用等に関すること	町内の子どもも楽しめるような観光の目玉を作ってはどうか。	夏祭りのはんざりやお化け屋敷、港まつりの魚のつかみどりなど、子どもが楽しめるイベントの情報発信に努めるほか、エミフルMASAKIとも連携しながら多くの子どもたちに訪れてもらえるような方法を検討していく。	産業課
	“想い通り”でジョギングやウォーキングする人が多いので、距離標識があるとよいのではないかな。	ジョギングコースについての検討を開始している。頂いた御意見も参考にしながら検討を進めていく。	まちづくり課
	交通の不便な地域もあるので、巡回バスのルートを拡充してはどうか。	コミュニティバス1台での運行では、路線の延長・増便は困難な状況であり、その他の方法で充実させることはできないかどうか、需要の状況も研究しながら検討する。	町民課
景観や町並みに関すること	ネットで“おしゃれタウン”について検索すると、おしゃれなカフェやイルミネーション等が出てくる。松前町にはそういったものはあるのか。	近年、町内にパン屋やケーキ屋などおしゃれな店舗が増えてきている。イルミネーションは、商工会が毎年11月下旬～1月上旬の間、ふれあい広場で行っている。	産業課
	企業を巻き込んで、色調が統一されるようなまちづくりができればよいのではないかな。	水と緑・地域力を生かした個性豊かな景観づくりを目指すことを定めた、松前町景観計画があるが、今後、女性会議の意見も参考にしながら内容の見直し等も行っていく。	まちづくり課
	国道56号線の中央分離帯の雑草や道沿いの木が生い茂っているのは見苦しい。	管理者である国土交通省が、年に1回除草作業を行っている。また、状況に応じて町から要望を出しており、今後も適正管理を要望していく。	まちづくり課
	松前の道路沿いも花があるときれいに見えるのではないかな。	老人クラブ等が地域単位で道路沿いの花壇を管理しているところもある。このような取組が更に広がるよう、地域との連携に努めていく。	まちづくり課
	有明公園は、水もきれいで周りの町並みも雰囲気良く、はやりの古民家カフェも似合いそうだった。公園に行くと水を見るだけでなく、何か憩いのスペースがあれば、もっとアピールできると思う。	有明公園には公園施設として東屋やパーゴラを設置しており、公園利用者がちよとした休憩ができるスペースを確保している。平成29年度には、国近川に架かる有明橋の修繕を予定しており、景観にも配慮したものとする。カフェの立地等民間による取組にも期待している。	まちづくり課
	“想い通り”から塩屋海岸までの道沿いに松前町のシンボルとなるようなイルミネーションをしてはどうか。イルミネーションといえば松前町というイメージが作れたら、若い世代の人たちも松前に来たいと思うのではないかな。	想い通りとエミフルMASAKIを結ぶ、町道西古泉筒井線を新たに建設する予定としており、まずはこの道路での実現を目指していきたい。	まちづくり課
基盤整備等に関すること	調整区域の問題はあるだろうが、国道56号線や想い通りの沿線の今後の発展に期待している。	国道56号線と想い通りの沿線については、ほとんどが市街化調整区域であり、基準内の建物しか建築できないため、県に対して基準の緩和を働き掛けていく。	まちづくり課
	想い通りがきれいになり、これから沿道に店が増えるだろうが交通渋滞がおこらないようにして欲しい。	交通渋滞については、新たな町道の整備や看板の設置など、国土交通省や警察とも協議を行いながら、町全体としての渋滞対応を検討していく。	
地域活動等に関すること	数年間公民館活動をお手伝いしたが、年齢が上の方が多かったため、どうしても若い人が入りにくい雰囲気があるのではないかなと思った。もう少し、いろいろな人が出入りしやすい地域づくりができればよいと思う。	各地域においても、行事への参加者が高齢化しているので、若返りを図れるよう地域の方々と一緒に考えていきたい。	社会教育課
	松前町開催の別のミーティングにも参加しているが、参加者の平均年齢が高い。昔の話を聞くことは勉強になり、松前の歴史を知る上ではよいのだが、子育て世代や若い世代へ目を向けたイベントや子育て関連の何かを作るときは、若い年代に絞って募集した方がよいと思う。	テーマに合った世代の御意見を聞くことは重要だと考えている。今後は、会議の内容に合わせて開催日時等を考慮するなど、目的に合った世代の方が参加しやすいように工夫する。また、必要に応じて幅広い年代の方の御意見も参考にしていきたい。	全